

## 「憲法9条を守る運動の交流会（第13回） 報告

09年2月3日 18:00~20:40 横浜市開港記念会館で、約50名参加で開かれた（司会は後藤仁敏事務局次長）。

冒頭、岡田尚事務局長より「11.2九条まつりについて」「08年4月からの県内の九条の会の活動の特徴について」「第3回全国交流会（08・11・24）」「九条世界会議（08・5・4~6）」「九条改悪の動きの現状と立法改憲（憲法より下位の法律で、実質上の改憲となる）の危険性などに触れながら挨拶がありました。

次に「自衛隊のソマリア沖派兵と海賊対策新法」と題して篠原弁護士より報告が行われました。報告は、  
・ 自衛隊法82条と派兵  
・ 問題の所在と今後の動向など恒久派兵法とその先にある憲法9条の問題など多岐にわたり現在の緊急の課題であることが浮き彫りになりました。報告をめぐり、すぐにでも可能な行動を起こすことが大事との意見が相次ぎました。

約1時間の熱い議論の後、各「会」の交流に入りました。以下ごくおおまかに発言の概要を記します。

- 1 結成4周年行事を終え、2月28日には浜林正夫先生を講師に学習会。また「キルト9条の会」の日高さんに「バンクーバー9条の会とのつながり」を話してもらおう。（富岡・能見台）
- 2 国会に署名提出活動をしている。

日野原重明さんの講演会を9月30日に横須賀芸術劇場で2000名規模で行う。（横須賀）

- 3 23回目の憲法劇を6月26～27日に青少年ホールで開催する。力を貸していただきたい。(憲法劇)
- 4 「日本の青空 II」について。キャストが決定し、撮影に入る。今回は25条がテーマで岩手県沢内村が舞台。制作協力券の普及をお願いしたい。(インディーズ)
- 5 2月1日新たに「会」が誕生し現在厚木市内で9つの会が出来ている。賛同者は1000人を超した。3月20日は3周年記念で、講演(伊藤真さん)と映画(「戦争をしない国日本の集いを厚木文化会館で行う。  
一枚200円で車・ポストに貼れるグッズを作って販売している。23の小学校区に「会」をつくりたい。(厚木)
- ⑥「キャンプ座間の問題・その後」として1月24日に学習会を持った「バスストップから 基地ストップの会」(原順子さんのお話)。去年は「港北の会」企画の軍港海上見学会へも参加。  
(厚木)
- 7 ネルソンさんのお話(去年、旭区公会堂)で、520枚のチケットが売れ(420人参加)、成功したので「日本の青空」のDVDを購入、普及している。  
今回は「日本の青空」第2弾に協力したい。地に足をつけた活動に徹している。(旭区)
- 8 水上勉作「釈迦内枢唄(有馬理恵主演)」上映実行委員会を中心的に担っている。5月29日夜鎌倉芸術館。交通の便が良いので、根岸線、東海道線、横須賀線沿線の「九条の会」の支えをお願いしたい。(大船)
- 9 昨年箱根町であったようなことに危惧を抱いている。反撃の意味からも駅伝などの際には「会」の存在をアピールするためにもパフォーマンスを展開している。(平塚)

(注) 箱根のいきさつについての説明がありました。

- 10 賛同者は 1400 人を越えて大規模化したのでこじんまりした集いをやれるよう心がけている。市と教育委員会は必ず後援団体になってもらってきたが、最近これに反対する勢力の陳情も活発になり危険な状態もある。会の事務局長は沢内村とは特別な関係があることもあり「日本の青空パートII」はできるだけ応援しようと思う。(大和)
- 11 毎月一度駅頭宣伝。学習会を 2～3ヶ月に一回「9条と24条」について理解を深める活動をしている。冊子「日本国憲法の『9条』と『24条』」の紹介。(保土ヶ谷・女性の会)
- 12 毎月9の日、屏風浦駅宣伝。その他、小さいながら創意ある活動を心がけている。(磯子区・森)
- 13 立ち上げて15年になる「九条の会」に対し、横須賀原潜阻止行動の共同開催のための呼びかけを申し入れたが断られた。9条の形骸化をもたらすもので「九条の会」が何故できないのか、9条改憲阻止の一点で結集しているからという理由は納得いかない。今後の問題として提起したいのは出来るだけ統一行動を組んでほしい。今年6月の横須賀市長選についても「統一」ができれば「九条の会」も積極的に関与してほしい。(新護憲)

この発言(横須賀市長選)をめぐって賛否を含め短時間ながら熱い議論がたたかわされました。大方の意向は「選挙と九条の会の活動は異質」というところに落ち着いたと思われます。もちろん「9条」と横須賀市長選とは密接な関係があり、その重要性について参加者は十分に踏まえた上での発言のやり取りでした。

14 3/14に「若者と憲法(中西新太郎氏・科学者)」、3/7に三周年記念として品川正治氏の講演などがあるのでご協力願いたい。(栄区)

交流のあと、岡田事務局長のまとめの挨拶。

「『九条の会』とは何なのか。九条を守り、根付かせ、生かすという一点で結集している。しかも個人中心の組織である。ときどきの政治課題が憲法と密接に関係していることは理解するが、だからといって、その政治課題そのものを『九条の会』がやることはない。それはそれぞれが他の組織あるいは個人で、自分の考えに基づいてやってほしい。各界・地域の置かれている事情の違いから来る様々な組織がある事がよい事ではないが『九条かながわの会』として、これからの一年何をしていくか、議論は深まらなかったが、事務局レベルでも検討するが、各「九条の会」からもご意見を寄せてほしい。次回に期待したい」

最後に呼びかけ人のお一人、岡崎晃さん(牧師)が閉会の挨拶。

「1/30朝日の天声人語に渡辺白泉の句が載っていた『夏の海 水兵一人 紛失す、夏の海がソマリアにならぬよう『戦争が 廊下の奥に 立つてゐた』。9条が表面に出ないところで、粛々と侵食されている。注意深くアンテナをめぐらせて、成すべきことを成しましょう。」

(注) 毎回、多数の宣伝物(ビラ・チラシ)が持ち込まれています。詳細は「会」へ直接お問い合わせください。また、各「九条の会」の企画・催しについてもお知らせ下さい。メルマガで発信します。

( 文責 : 飯田 )